

令和7年度第1回 城南市民センター運営審議会議事録

日 時 令和7年10月15日(水) 13時30分～14時30分
場 所 福岡市立城南市民センター 3階 第1・第2会議室
委 員 【出席】6名 【欠席】2名
事務局 城南市民センター館長 外3名
指定管理者 4名

傍 聴 人 なし

○ 次 第

- 1 開 会
- 2 館長あいさつ
- 3 委員・職員紹介
- 4 議 事
 - (1) 協議・報告事項
 - ① 令和6年度 市民センター利用状況について
 - ② 令和6年度及び令和7年度指定管理者事業について
 - (2) その他
- 5 閉 会

○ 議事録

(議 事)

協議・報告事項

- ① 令和6年度 市民センター利用状況について
- ② 令和6年度及び令和7年度指定管理者事業について

指定管理者から説明・報告を行った。

① 意見・質問

(委員) 中学校の合唱コンクールを城南市民センターで計画したことがあるが、まだ利用できていない。ぜひ利用したいと思っている。教員がよく施設を知ったうえで子どもたちにも施設を覚えてもらい、利用が広がるとよい。

(委員) グループ・サークルの利用が多いようだ。自治協議会や自治会も市民センターでどのような事業が行われているかを知ることが大事だと思う。公民館でも利用者の裾野を広げるきっかけづくりをしているところ。市民センターの地域への広報の仕方など、お互いに工夫が必要である。

(委員) 利用状況で東市民センターの数値が大きい。

(委員) 新しくなったホールは明るく、感じがいい。ホール休館の影響で会議室の利用率が下がるのは、ホールの控室としての利用がなくなったことによるものということが、説明でよく分かった。

(委員) 大人の社会科見学のような形で、市民センターの視察ツアーを試してみるのもいい。市民センターでしかできないことは何かを突き詰めることも大事だと思う。コロナ前と比べて利用者は戻りつつあるのか。

(事務局) 利用状況はコロナ前に戻りつつあると認識している。東市民センターの数値が大きい要因としては、区の規模や比較的新しい複合施設であることがある。公民館は地域密着型で市民センターはそれより少し規模が大きいが、施設が市民とどう繋がっていくかというところは、共通の大きなテーマである。

② 意見・質問

(委員) 自習室の利用が伸びている。無料で、子どもたちにとっても良い取り組みだと思う。

(委員) 九州交響楽団の演奏会は、高校生に加えて中学生も参加するとのことで、こういう経験は後々生きると思う。クリスマスコンサートも高校生が入っているが、ここにも中学生が入るとよい。生涯学習室の利用者の年齢層はどうか。

(指定管理者) 大学生から高齢の方まで広範囲である。新規の利用者も増えている。

(委員) 自習室はどのような広報をしているのか。

(指定管理者) ホームページでの広報だが、クチコミの効果もあるようだ。

(事務局) 自習室は他のセンターでもニーズが高まっている。

(委員) 九州交響楽団の催しに中学生を参加させてもらいたい。本物の演奏を生で聴くことは子どもたちにとって刺激になると思う。部活動の地域展開でも、将来市民センターを活用する話が出てくる可能性もある。

(委員) 九州交響楽団の公演の中学生の参加は、委員の発言を受けて市民センターが形にしてくれた。運営審議会があつての展開である。市民センター特有の事業は何かと考えたときに、やはりホールだと思う。ホールでプロの公演などができることを強みに、これからも追及していただけたらいいと思う。

以上